

新しい幕があがる

第1回 島内文化ふれあいまつり

—今年から「芸術文化祭・福祉ひろばまつり・図書館まつり」がひとつに!!—

11月7日(土)・8日(日)にかけて、第1回島内文化ふれあいまつりが公民館・福祉ひろば・図書館を会場に開催されました。昨年度45回を迎えた芸術文化祭は幕を下ろし、新しい幕があがりました。

これまで、毎年「文化の日」の翌日曜日に、3つの祭(まつり)を別々の組織で運営してきましたが、お互いの連携を強め、島内地域文化の更なる発信・振興を目指していくために、新たな実行委員会が設置されました。



こどものひろばでチャレンジ!!



動く電車模型に夢中



練習の成果を発表



令和2年11月1日現在

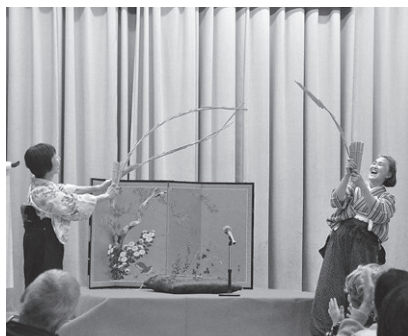
総人口	12,631人
男	6,158人
女	6,473人
世帯数	5,369世帯
島内公民館	電話 47-0264
	FAX 40-1264

今年は、新型コロナウイルスの影響で各地区の文化祭が軒並み中止・縮小となるなか、公民館サークルや住民等からは、「出演・出展したい」「文化祭を見に行きたい」との声が多く寄せられました。そこで、島内では新たに公民館・福祉ひろば・図書館・社協島内支会で組織された実行委員会が、6月から検討を重ねました。

期間については「昼食の感染リスクを考慮し、これまでの一日から半日の開催へしてはどうか」「展示期間は一日確保すべき」等の意見がありましたが、土曜日午後から日曜日正午頃までとすることに決まりました。

ステージ発表は、声を出す団体の出演が難しいことから、過去3年間に出演した団体と調整し、舞踊やピアノ演奏ダンス等11団体が出演することになりました。一方作品展示も、配置間隔を広げたり入室者数を制限したりするなどの対策を講じました。また、例年大人気の本のリサイクルは、図書館前の屋外で行いましたが、昼食サービスと喫茶は中止となりました。

かつてない状況下でのふれあいまつりの船出となりましたが、無事開幕を迎えました。



会場は大爆笑!! (松川落語会)



大人気の本のリサイクル



フラに子どもたちも出演



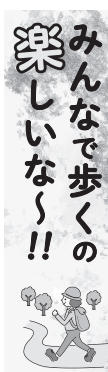
きちんとコロナ対策



当日親子で参加した小学生の女の子は「学校へ行くより遠かったけど、なんとかゴールできた。みんなで歩いたから、遠足みたいで楽しかった」と、笑顔で話していました。

例年同大会は、地区内に設けられた4キロと7・5キロのウォーキングコースを、春と秋頃の年2回歩いていました。新型コロナの影響から、規模や参加者数を縮小したウォーキング講座を7月に開催しましたが、参加者からは「大勢で歩きたい」との声が寄せられていました。

10月24日、秋晴れのもと「秋の島内地区健康ウォーキング大会」が開催され、70名が参加しました。



山田地域環境美化活動 環境大臣表彰

このほど、身近な地域社会の環境美化へ長年取り組んだ団体等へ贈られる「地域環境美化功績者表彰」に、全国からは48団体・12個人、松本市では山田町会と四賀地区の2団体が選ばれました。

山田町会では、市のポイ捨て条例が制定された平成13年から20年間にわたり、役員による近隣市道4キロの清掃やゴミ拾いを継続してきました。清掃を行っている市道は山間

部ですが、抜け道として多くの自動車が行き来するため、ゴミのポイ捨てが多発しています。そこで、月1回はパトロー



ルを兼ねて、町会から芥子坊主公園駐車場・展望台を経て松本トンネルまでの間で活動しています。これにより、年々投げ捨てが減少してきました。また、平成25年からはじめて景観と桜を楽しむ桜街道の整備活動では、市道沿線の赤松を伐採した後に植樹した「しだれ桜」が、春には目を楽しませてくれるようになりました。

山田町会会長 大沢隆雄

いのですが、同じ趣味を持つ仲間との交流も刺激を受けました。

絵を描き始めたのは、パステル画の色がとても綺麗な須澤元夫先生の個展を見て自分でも描いてみたいと思い、教室に入りました。その後、絵描きのようにキャンバスにも描いてみたくなり、油絵に挑戦して今に至っています。

家内が水墨画をやっているため、車に乗っていた頃は、二人してあちらこちらの風景を写生して歩き回りました。今は、撮りためた写真や身近な風景を絵にしています。現在も月一回は、教室の仲間と批評し合いながら楽しんでい

米寿 はじめての作品展



60歳を過ぎて何か趣味を持ちたいと考えていた頃、たまたま刻字の作品展を見たことがきっかけで講座に通い始め、続けて木彫りも経験しました。創作も面白

島内には、美術会員の方が大勢おられて作品展も開催されています。私の作品など遠慮したい気持ちもありましたが、家内に押されて出品させていただきました。自分の作品だけをこれだけ並べて見られたのは初めてです。

（東方町会 青柳孝男）

コロナと私たちの生活3 集まり・学び合う場づくりを

農業文庫運営委員会では、住民を対象にした講演会や視察研修会などを、年6回開催しています。

しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で5月から8月までの事業が中止となり、その後の取組みも開催できるか不透明な状況でした。丸山高司会長からは「様々なイベントが自粛の方向に流れている。会の活動は、住民が集まって・学んで・交流する大切な場をつくること。実施方法を



▶間隔をとって見学

工夫して進めよう」との呼びかけがありました。そこで、9月には金井信一郎氏（信州大学医学部附属病院）を講師に、新型コロナウイルスの現状・対策等を学ぶ講演会を開催し、10月には、諏訪地方の歴史文化を訪ねる視察研修会を実施しました。

（農業文庫運営委員）



▶入場制限や検温・消毒を実施

人形劇 & タングラムシアター

10月19日、公民館で子育て講座が開催され親子30名が参加しました。

元保育士メンバーの「人形お芝居おぼっこぼっこ」による人形劇やわらべ歌手遊び、図形パネルを使ったタングラムシアターに、子どもたちも大喜びでした。

